ビジネスに成功を呼び込む“やれる気”のすすめ ①

※339号から3回にわたって「“やれる気”のすすめ」をご紹介します。

大林 伸安 氏
株式会社ノビテク 代表取締役 やれる気請負人。
日本一の規模の研修実施プロジェクトを講師側総責任者としてマネジメントした実績を持つ。研修講師としても大手企業を中心に100社以上、経営幹部から新入社員まで、何万人もの研修実績がある。また“やれる気請負人”として教育やコミュニケーションの促進により、組織や人材のやれる気を引き出す。
英国国立ウェールズ大学大学院経営学修士(MBA)、アクションラーニング学習コーチ(ジョージワトソン大学リーダーシップコース修了)。
著書に「仕事が楽しくなる! 25のルール」(ダイヤモンド社)がある。
●株式会社ノビテク　http://www.nobetech.co.jp/

2011年、ビジネスのキーワードは“やれる気”

右肩上がりの時代には、誰もが頑張ればうまくいく、成功を手にできるという実感がありました。しかし現代はその手応えを得るのもなかなか大変。ビジネスマン、ビジネスウーマンにとってもモチベーションの維持は大きな課題です。

そんな時代だからこそ、求められるのは“やれる気”と語るのは、プロデューサー、講師として数多くの研修実績をもつ大林伸安氏です。「やる気ではなく、やれる気?」と多くの方は疑問に思うかもしれません。それもそのはず、実は“やれる気”とは大林氏の造語です。

第1回では“やれる気”とは何か、“やれる気”を持つことでどんな成果が上がるのかを大林氏に教えていただきましょう。

●成功への意欲を行動に変えるのが“やれる気”

“やれる気”を知るために、まずやる気について考えてみましょう。よく上司が部下のことを「こいつ、やる気がない」などと言いますが、本当に本人にやる気がないのでしょうか。

人は誰でも、幸せになりたい、社会人であれば仕事で成功したい、上司から評価されたい、ほめられたい、という気持ちはあるもの。ですから本来、人には自分を向上させて満足を得たいというやる気は必ずあるものなのです。ところがそのやる気は、自分の心のなかにあるため、小さくてパワーが弱かったり、心の奥に隠れていたりすると、他の人には見えにくい、そして自分でも気づかない場合があります。そんなときに人は、「こいつはやる気がない」と思われ、自分でもやる気がないと感じてしまうのです。

そこでポイントとなるのは、自分の持っているやる気を“やれる気”に変換することです。

自分ではやる気を持っているのに、他の人から見てやる気がないように見えるのは、実は自分が何をしたらいいか、そのやり方が分からないために立ちすくんでいるからなのです。まず目標を定めて、自分はこうやると成功するという道筋を見つければ、どのように行動すればよいかがわかります。

成功への期待感を持って正しいやり方さえ分かれば、人は自然にやる気になります。この成功期待感が“やれる気”です。

「楽しくやりたいというやる気は皆さんあるのです。その方法がわからないだけ」と大林氏

“やれる気(成功期待感)が成功のスパイラルを生み出す”

●自分にもやれると感じる経験が大切

少し具体的なお話をしましょう。私自身が社員研修を行ったときに経験したことです。その研修は、これまで技術職にいた社員を営業職に配置転換するためのものでした。意に沿わぬ異動に多くの社員は不満顔で、やる気があるようには見えませんでした。しかし私は考えました。彼らもまったくやる気がないわけではないだろう。もし営業の仕事をやってみて、楽しかったり、手応えがあれば、「よし、俺は営業もできるぞ」という前向きな気持ちがどんどん膨らむはずです。

そこで私は研修の後、一人ひとりの社員に同行し、営業のテクニックを事細かに現場で教えていったのです。すると皆さんみるみると表情や行動が変わっていきました。これはこう行動すれば自分はできるのだという手応えが、自信となり、気持ちを変えていった、ということ。成功期待感、“やれる気”が生み出した変化なのです。

彼らを見て、「今までなかったのはやる気ではなく、やれる気だったのだ」と思いました。実はこれが、私が“やれる気”の大切さに気付かされた原点です。

●ビジネスにこそ成果が大きい“やれる気”

“やれる気”というのは、成功への期待感。しかも成功するイメージを持って行動し、そこで成功を手にすることができれば、それを自信にしてさらに“やれる気”を起こし、次の成功を呼ぶ。このような成功のスパイラルを生み出すのが“やれる気”です。

“やれる気”は恋愛も人間関係も、趣味やスポーツなど、何にでも応用が可能ですが、なかでも常に目標を掲げてその達成にむけて行動する、ビジネスにおいて活用しやすく、またその成果もでやすいというのが私の実感です。

＊　＊　＊　＊

次回 340 号では“やれる気”はどのようにすると持つことができるか、その具体的な方法をご紹介します。

＊講師としてお招きした2010年開催の東海支部＆関東支部の研修・セミナーは、参加された方々から大変ご好評いただきました。

大林氏からのメッセージは
eふぁみり もあわせてご覧ください!
eふぁみり
http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/

出典　FUJITSU ファミリ会　会報 Family339 号 (2011 年 2 月 20 日発行)